

2026 年度下半期開講

受講生大歓迎！

京都学講座

ジャンル別に紐解く日本美術

～それぞれおもしろい、それぞれすてき～

日本美術は、どの角度から見るかによって、まったく違う表情を見せてくれます。今回の京都学講座では、絵画・工芸・彫刻・書といったジャンルごとに作品を紐解き、歴史的背景や文化的な意味を交えながら、その魅力を紹介します。さらに、美術品や文化財を未来へつなぐ「修理」の専門家も登壇し、作品を守る視点からも日本美術を見つめます。日本美術の世界を、より深く、より楽しく味わってみましょう。

2026 年

10/17 (土) 「美術のジャンルをめぐる教科書に書いてない話
—工芸ジャンルを中心に—」 花園大学文学部教授 福島恒徳氏

11/21 (土) 「文化財修理の現場から —絵画のうらがわ—」
株式会社光影堂 企画総務部企画課長 東野鈴奈氏

12/19 (土) 「禅画再考 —もう一度「白隠さんの禅」—」
妙心寺派宗務本所特別研究員 志水一行氏

2027 年
1/16 (土) 「仏像の造り方と胎内納入品」
香雪美術館 学芸員 郷司泰仁氏

2/20 (土) 「古典籍の魅力 —釈教歌仙の諸本を紐解く—」
花園大学文学部仏教学科 専任講師 本多潤子氏

3/20 (土) 「世界で最も多彩な日本の美術と工芸
—絵画、書蹟、彫塑、陶磁、漆工、金工、染織—」
花園大学文学部教授 福島恒徳氏

日 時：2026/10/17 (土) ～ 2027/3/20 (土) 第三土曜日開催

13：15 開演 (12：45 開場) 料 金：1回受講 1,500 円

※予約不要。開催日当日の開演時間までに、サールナートホール2階にお越しください。

主 催：宝泰寺 協力：花園大学 (株)サールナートホール※講師や内容に変更がある場合もございます。

お問合せ：サールナートホール TEL054-273-7450